一般社団法人
ロゴス腹話術研究会
2025年12月15日
会報
第30号

人の子が来たのは

イエスさまは、二千年前にユダヤのベツレヘムでお生まれになりました。お釈迦様と、孔子とソクラテスとならべ『人類の偉大な教師、世界の四大聖人』とされました。その４人の中で一番親しみやすいのがイエスさまです。

でもイエスさまは聖人じゃないんです。神の子です。神様なんです。

人の子（イエスさまはご自分のことをよくそう言われました）**が来たのは、失われた者を尋ねて救うためである（ルカ１９：１０）**クリスマスにはこの言葉を思い出します。

ザアカイさんの話のところラストの言葉です。聖書はイエスさまが、『**神のひとり子**』であると私達に教えてくれます。グッド・ニュースを福音と訳して私を、あなたを救うために神が人となり地上に来て下さったという事実を福音としてクリスマスにお祝いするんです。

『人の子が来た』と言うのは何回も聖書に出てきます。人々は生まれたことを**来た**と言わないです。神さまだから**来た**と言われるんです。今年のクリスマスは洗礼を受けて49回目、今ごろイエスさまの誕生をお祝いした人達の気持ちが、やっとわかるようになりました。

ハレルヤ、ハレルヤ

春風イチロー（1997年クリスマス：ロゴス腹話術年鑑　p15、1998年より、切り絵：石田英一）

日本キリスト教団の教師検定委員長であられた渡辺善太先生（銀座教会名誉牧師）から「牧師になってから寄せ芸の腹話術人形を抱くもよし、抱かざるは　尚（なお）　よし」と言われました。この言葉は永年気になってました。「抱くもよし、抱かざるもよし」ならば誰でもよくわかるのですが、「抱かざるは　尚（なお）よし」の尚（なお）が今でもわかりません。この“尚（なお）”にひっかかって50年過ぎました。

講演　　お人形との命の通いを求めて

春風シロー（石橋秀雄牧師）

腹話術における目線

お人形の表情を出すこと、「命の通い」とは何かっていうと目線です。お人形が出てきた時に観客を見渡すことで親しみを持ってもらえます。お人形と術者、そして観客との三者関係を構築するためには、目線を合わせることが不可欠です。お人形も自分の意思を持って観客を見ることで、命が通い始めます。こう右の方からずーっと見渡して、それから演技を始める。そうすることによって「あー、僕の、私の友だちだ」と親しみを持ってくれます。この時、目が合うかどうかです。今、目合ってました？合った、よかった。お人形も自分の意思を持って見てるわけです。「ああ、優しそうな人がいるな」「こっちは…うわぁ、この方はどなたでしょう」っていう風に。お人形も自分の意思を持っていて、動くことが人格関係、命の通いの出発点なんです。だから目線が合わなかったり、見てもらえないと、よそ者みたいで親しみを持ってもらえません。目線、とっても大事です。

子どもたちに会うと「モンちゃんは？モンちゃんは？」て聞いてきます。子どもたちとの関係性も長くなっているモンちゃんですから、その人格を大事にしています。関心を持ってモンちゃんを見てくれるので、こちらも興味を持って子どもたち、観客を見る。この目線で相互関係を築くことがとっても大事です。仲間からも「モンちゃん連れてきて」って言われます。「お人形を連れてきて」ではないんです。ですから今、私はこのモンちゃんをどう生かすか、どう表情を出すか、そんなことを一生懸命考えています。

聖書の言葉と腹話術における右手の重要性

聖書の中にね、「私の右手で、あなたを支える」という言葉があります。とっても大切な言葉なんです。右手というのは神の力、神様の力であなたを支えるということです。（モンちゃんと対話しながら…）あなたも右手によって支えられてるんだよ。関係ない？随分態度悪いね。言葉も悪いね。言わしてんだ？じゃあ右手抜くよ。何か言ってごらん。（モンちゃんの口が動かなくなります）実はこんな風にして、モンちゃんはイトーヨーカドーに吊るされて4,700円でした。それがね、今は私のパートナーで、この子なしには…生きていけない…ってことはないんですが、もうこの子がいるから、子どもたちとも違った形で話ができます。だって子どもたちの心を読み取りますからね。そして、私と子どもたちの関係を近づけてくれます。

昔、講演で「いつか人間はダメになる。その時に重みのある言葉を指し示すのが教育の目的だ」と聞きました。いつか人間はダメになる。その時に支えとなる言葉を指し示す働きができるかどうか、キリストを通してそれができるかどうか、私の課題です。…モンちゃんの中に右手がグーッと入っていくと…（モンちゃんの口が動いて話せるようになります）お話ができたね。あなたの中にあるものは、神様の右手。神様の右手が入って…神様ありがとう…お話をしていくことができます。なかなか表情もいっぱい出るんです。ですから今、このお人形に表情を出して、また、私たちの命の通い、また見ている方々との命の通いというものを、語り継ぐ基ができるかどうかです。その時に一番大事なのは目線ですね。

台本を育てること、心をとらえるイチロー師匠の言葉

今「大きなかぶ」の台本を何度も書き換えて作っています。まあこれ以上できるかなってぐらいの思いで、

台本を育てています。育てることが大事です。

狂言ってすごいですよ。室町時代の作品が今でも私たちを笑わせるわけです。その一つひとつの言葉は時間の中で洗練されて、これ以上ないぐらい磨かれ完璧な言葉、歌として完成され演技されます。室町時代に作られ、今の私たちも大好きで見たり聞いたりするんです。やっぱりすごいです。どんなに時代が変わっても変わらないもの、そういう台本を完成することができるかです。

先ほどイチロー師匠の腹話術演技をDVDで見て、「ああ、本当に私の財産だ」と思いました。その言葉、演技、もうそれは本当にすごい。どんな方々も笑っていました。誰にでも通じます。このように時代が変わっても、なおそこで人々の心をとらえる台本を、私たちはどう作ることができるか。それも課題だと思っています。イチロー師匠の台本、演技を私たちは見ることができます。親しむこともできます。ありがとうございました。

私は1925年（大正14年）の4月生まれ、東京浅草で生まれて72歳になりました。江戸っ子・生粋の浅草っ子です。幼児の頃から父に連れられ寄席通い、「寿限無」と「道具屋」のさわりを覚え、小学校で落語の実演。法政中学で2年生の６月のクラス会で腹話術のマネゴト実演、公式記録はありませんが日本で一番最初の腹話術実演でした。浪人一年しているうちに、国より天皇の名に於いてお座敷がかかって、軍隊生活に入る。レイテ湾上陸要員としてトレーニングされ、明日出発という晩に扁桃腺肥大で倒れ、軍医の診断ミスで法定伝染病とされ隔離、九死に一生を得た。以来扁桃腺肥大は残っており、春秋に悩まされている。

６代目春風亭柳橋の下に入門前座修行中、埼玉県の日本キリスト教団大宮教会に居候。教会で開かれた賀川豊彦先生の特別伝道集会で入信決意、即日献身、翌日バプテスマ（洗礼）、その翌日農村伝道神学校に入学した。求道と入信と献身と神学校入学を全部3日間ですませたギネスブックものである。

５年間の神学校在学中に校長の許可を得て再び春風亭柳橋師匠のもとから色もの腹話術で寄席出演（落語芸術協会、芸名はこの為）。卒業後は1953年（昭和28年）日本キリスト教団牧師として川崎市新丸子で開拓伝道に従事。以来今日まで、何と45年間同じ新丸子教会に仕えました。家族は現在２人ぐらし。長女と次女は独立し、妻文子は婦人牧師として新丸子教会で同じく45年勤めました。

今年５月には引退するが、無任所教師（フリー）の牧師として、ロゴス腹話術研究会の主宰として、証詞してゆきたいとまあそんなに考えています。

1998年1月

（ロゴス腹話術年鑑　p42、1998年より）

(2025年度秋季研修会 集合写真)

イチロー師匠の思い出

イチロー師匠に導かれたさっちゃんと私

春風イチゴ

宿泊研修の時はいつも師匠のモーニングコールにドキドキの日々。朝６時ごろには電話が入りました。そして春日井の定光寺の研修会に来て頂いた時の事です。うわさにたがわず、本当に１時間前に師匠はお見えになりました。後部座席ではなくワゴンの助手席に「ヨッコラショ」と乗って頂きました。時間を大切にする事を学びました。師匠との懐かしい思い出です。

師匠との出会いはもう５０年も前になります。知り合いが天城で初心者研修を受けたので興味を示すと「あなたには大変だから無理。やめたほうがいいよ」と言われました。でも思いを持ち続けていると、師匠が名古屋にいらっしゃる機会があり、喜んでその初心者研修を受けました。その時は９名参加し、二人ずつ組むとあまった私のところに師匠が来られ個別指導、「〇けんちゃん、×ナアニ、〇あのね、×ウン」が始まりました。

師匠の笑顔は最高「〇けんちゃん、×ナアニ、〇あのね、×ウン」。それからはバスに乗りながらも、いつも「〇けんちゃん、×ナアニ、〇あのね、×ウン」。周りの人からじろじろ見られました。暫くは寝ても覚めても頭の中は腹話術で一杯の毎日でした。

その後、師匠のバーゲン塾に１年間参加させて頂きました。ちょうどサリン事件が起きていた頃で、家族は新幹線に乗る私を心配していました。そして私はいつも３級ではなく、産休で月日が流れていきました。

やがて私も母になり、最初は長男の名前「〇しげちゃん、×ナアニ、〇あのね、×ウン」。次は長女の名前「〇さっちゃん、×ナアニ、〇あのね、×ウン」。保育園に勤務させて頂きました。３０年以上、毎年入園式にはサッちゃんが出ています。保育園の生活も楽しく過ごせたのは師匠、とんぼ先生のお陰と感謝しています。

師匠の厳しい「パターンは９」「間は・・・」の言葉に、みんなでビクビクしていましたが、本当に愛のむちで一人ひとりを大切に考え指導されていたことを感じていました。「腹話術はしっかり覚えなさい。そしてすべてを忘れなさい」当時は意味がわかりませんでしたが、今はわかる気がします。

北海道、九州、三ヶ根山…色々な所で研修がありました。師匠の横にはいつも優しい文子先生が見守っていらっしゃいました。そんな文子先生のサポートに支えられて、師匠は安心して素晴らしい腹話術を指導してくださいました。

最近、家を片付けていると、師匠の「腹話術は私達の人生を変える」という言葉の湯飲みが出てきました。どこから出てきたのか不思議です。師匠の指導を受けた人々が師匠の意思を受け継ぎ、次の指導者を育てています。皆さんの心の中には師匠の教えが永遠に生き続けていくと思います。師匠との出会い、さっちゃんとの出会いがあったから、今の私があります。感謝の気持ちで一杯です。

本当にありがとうございました。

イチロー師匠との思い出

春風福笑

春日井での研修会の折、演技中に「師匠の顔を見ていない」と厳しい注意を受けました。又、落合公園（現グリーンパレス）の研修で人形だけの台詞が書かれた台本を即興完成させるお題の時、「〇落合公園は公園百選の　×ウン」と発声した時「ああ、そっちか」と安どの表情を見せてくださり思いやりを感じました。

私の本名の「福笑」を気に入って頂き「芸名は決まった、早く取れ」と言って下さったのに、師匠から「春風福笑」の芸名を拝する事が出来なくて、申し訳なく思っております。

一方で現在もロゴス腹話術に繋がらせて頂いております事を嬉しく思っています。イチロー師匠には「怖い」の威厳と優しい心からなる温かさを感じていました。ありがとうございました。

イチロー師匠の思い出

長野県　比田井慎爾

賀川豊彦牧師「君、ボクシ…やらんかね。」
イチロー師匠「はい、やります」（ファイティングポーズ）
この対話がロゴス腹話術研究会の始まりだった、という師匠の話は本当なのですか、と1978年、ロゴスの姉妹に尋ねたところ「本当に間違えた」とのこと。それでは、まるで漫談ではありませんか…。思えば私たちロゴスの歴史は漫談のような歩みだったのでしょう。

師匠から最後にお電話をいただいたのは2011年頃の早朝でした。「おい田中（私の2番目の名字）、脚本に困っていないか?」「師匠!それなんです。一番困っています。」当時師匠からは「聖書かるた」を勧められました。さっそく何回かCSで活用しましたが、あまりウケなくて、まだ挫折しています。

次の思い出です。私がロゴス４級の位階をいただいたのが1980年頃。およそ10年後私の名字は田中に変わっていたので、今度は４級を田中姓で取得しなくてはいけないと思い、長野県から天城山荘へ出かけました。すると受付で「3級志願で良い」と春風の方からにこやかに承諾していただけました。ところが、師匠は私を個人的に呼び出して「おい、近藤（私の32歳までの姓）、女はサンキュー取るけど、男までサンキュー取ることはないだろ」私はありがたく3級の位階をいただきました。脚本題は「良きサマリア人」この時も、まるで漫談のような天城山荘でした。その頃の天城山荘入り口の聖句が印象に残ります。

すべてこの水を飲むものはまた渇くであろう…
師匠のサンキュー取ることはない＋また渇くであろう…は私の生涯の支えです。

わたしの保育腹話術人生

岩手花巻　龍田ヒサエ

はじめに「2025 春風イチロー生誕100周年記念」おめでとうございます。

春風イチロー師匠と人形ケンチャンを知るきっかけは、保育士を目指していた昭和49年の学生の頃、書店で手にした保育雑誌「幼児と保育」でした。謳(うた)い文句は「保育腹話術」。さらに「腹話術は、人生を変える」に魅了されました。

目指した就職先は、イチロー師匠の教会がある川崎でした。川崎市の市職員(保育課)になり、働きながら夢を叶えるという一石二鳥の時間でした。昭和49年4月には新しい環境地にありましたが、5月には　腹話術の研修会に参加できました。待ち望んでいたイチロー師匠とのレッスンは苦戦しましたが、最終日の技術認定に受かり「腹話術4級(第311号)」の認可証明書をいただくことができました。

その後は「級」にこだわらずに保育の現場にて腹話術台本に取り組みながら実践をしてきました。保育腹話術は自分を高めた人生そのものです。65歳で保育の仕事を退職後は人形コウちゃんと一緒に、ボランティア活動を楽しみながら元気をいただき過ごしております。

半世紀経っても　研修会の映像が心の中に残っております。先輩の昇級演技「七ひきの子やぎ」はわたしが目指していた保育腹話術のお手本になりました。福島県の音楽の先生自作の曲「1パーセントの塩水のうた」そして、金子みすずさんの「すずと小鳥とわたし」の曲も継続しております。術者と人形のやり取りがおもしろいと花巻の子どもたちにも人気の演目です。さらには　春風きよし先生作「クロちゃんとライオン」　春風いく子先生の「交通コウちゃん」など半世紀を経ても生きつづけており、子どもたちを元気にして楽しませてくれています。

最後になりますが、大切に保管している貴重な写真があります。イチロー師匠と人形ケンチャンが勤務地の保育園に足を運んで下さり(昭和50年3月)、園児の前で実演をしていただいた写真です。行事のプレゼントとして園児の笑爆と笑い声がわたしの保育人生のお宝になっております。ありがとうございました。

研修　人形操作

春風テッテル

さあ、お待たせいたしました。人形操作。基本の操作でマタイ、マルコ、ルカ、ヨハネとありました。覚えていらっしゃいますか？人形のいろんな動き、楽しく表現できるといいですね。

術者が意識して動かさないと、人形は動けません。これは当然ですが、「術者が意識しなくても、人形が動くようにならないとダメなの。もう一段高いです。」とテレサさんは言われました。はい、一段高くなりました。とにかく人形は、わざとらしくじゃなく自然に動かしなさいよっていう意味ですね。自然に動けるように努力をいたしましょう。

①

左向き(チョンチョン)

右向き(チョン)

②

左斜頚(チョンチョン)

右斜頚(チョン)

③

正面上(チョンチョン)

正面下(チョン)

1

マタイ：頭の動き

マタイは頭の動きです。

【マタイ①】左向き、右向き。向くだけじゃなくて、まばたき（チョン）も必ず入れてください。応用は首回し（首を回しながら向く）。こういうことも、面白いですよね。パッと向く動きじゃなくて。どうでしょう。

【マタイ②】続いて左斜頚、右斜頚。まばたきもしてますよ。次、斜頚でもこういうのがあります。「あ、何か面白いのが飛んでるな」左から来たなって（首を回して向く）、こういうのが人形の台本の中に組み込まれると訴える力が増します。

【マタイ③】正面で上と下に向きます。この時体もちょっと自然に動きますよ。人形は自然にやってるんです。体と少し差があるんですね。さあ、あごを突き出して引っ張る。もっと大袈裟にやってみましょう。その前に行く時には、ちょっと補助で足がブランブランしないように支えると、どうですか？子どもの前でやるとね、すごく喜んで「ワー！」って言ってくれます。

①

前タオシ(チョンチョン)

後タオシ(チョン)

②

左タオシ(チョンチョン)

右タオシ(チョン)

2

マルコ：ボディ上部の動き

【マルコ①】マルコは前タオシ、後タオシです。腰の動き、連動です。腰の辺りまで意識があるといいと思います。人形の両足を持って前に倒すことも考えてみました。

【マルコ②】ちょっと応用編の左タオシ、右タオシ。その時に左を倒すって頭までいかないんです。操り人形みたいに頭は常にまっすぐで重心を失ってはいけません。倒れる時はまっすぐですよ。できるだけ体だけで。頭は操り人形と一緒で上の方を向いてますからね。

【マルコ③】ぐるっとまわしもいきましょう。右まわしと、これも応用編で左まわしもしてみましょう。軽くなりましたね。お膝の上でしっかりと、自由に動けるように。できるだけ膝の上で安定させて、動きをスムーズにしましょう。

①

位置左(チョンチョン)

位置右(チョン)

②

足の組替え(チョンチョン)

③

左肩前(チョンチョン)

左肩後(チョン)

左肩大きく前

3
ルカ：位置の移動

【ルカ①】はい、位置の移動ですね。まず自分の方へ寄せて、はい、と膝トップに押し出す感じですね。かわいいと寄せてから向こうへ。そうすると、かわいい人形はどんどんかわいくなってきますね。

【ルカ②】足の組み替えです。組み替えの時もまばたきしましょう。この時に足を上から持つと、術者が操作している感じです。人形が自分で動くように見せるには、やはり目立たない下から支えます。組むだけじゃなくて、ゆとりがあったら足をブランブランする。ふざけて遊ぶ感じもいいですね。

【ルカ③】左肩の前後です。できますか？どこを持ちますか。この左の腰の辺りを持ったら皆さんに分からずにスムーズにできます。この時もまばたきはしっかりとするといいですよ。お顔と左肩がこう直線のようにすると大きく見えます。やっていると楽しいのね。さあ、肩を上にする応用もあります。台本の中に書き入れて、こんな風に遊んでるよみたいなね。

①

左手上(チョンチョン)

左手下(チョン)

左手上　ワーイ

②

左手左(チョンチョン)

左手右(チョン)

③

左手前(チョンチョン)

左手後(チョン)

4
ヨハネ：左手の動き

【ヨハネ①】最後のヨハネは左手の動きです。これもとても重要な訴える力になります。まずは上下。上にあげる時は、ちゃんと腕が顔、耳のあたりまできてピンと張れると、訴える力が出ます。そしてまばたきです。あのイチロー師匠のお写真ね。こういう風に下から手を支えています。やはりこう人形が自分で動いてるように、この辺り（肘の近くを下から）を持つのがいい感じです。大きく手を回してみましょう。上にいったら「×ワーイ、ワーイ」。A打音じゃない、B打音ですよ。いいですか？ワーイと音を伸ばす時には、B打音2回人形の口を開きます。

【ヨハネ②】こう手を右から左へ、左から右へと。まばたきもね。そして円を描くんですけども、こう右から左へ行って、下から右から行って左。こういう動きもできますね。反対もできると思います。それから前後です。これは**【ヨハネ③】**のポーズです。「×エイ、エイ」A打音ですよね。ボクシングっていう感じですね。

ということで、応用操作編も含めてお話ししました。皆さんこれから人形が、自分で動いているように見えるよう、よろしくお願いします。

春風だより

第49回春日井祭り　2025年10月19日

春風イチゴ

春日井祭りにはロゴス腹話術としては実に２０年くらい参加していて、春風福笑さん、春風のんちさんに続き、今年は長畑さんがイチゴと出てくれました。

「私はイチゴです」と言うと「みかんです」とすかさず答えて、笑いをもらいました。私は音が出ないスマホのハプニングのため、冷や汗の手品でしたが、長畑さんはとても落ち着いて出演されました。そして「学ぶことが多く、貴重な体験が出来て感謝。ハプニングあり楽しい時間でした」と言ってくれました。いちごとみかんで頑張りました。

汗かき恥かき、勉強になつた春日井祭りでした。

基本がある「なぜ」？

春風とんぼ

ロゴスで腹話術を学んだ方、これから学ぼうとする人には、絶対思っていてほしいことがあります。

腹話術は大変むつかしい芸です。誰にでもできるものではありません。

腹話術は大変楽しい芸です。誰でもやってみたい芸です。見ている人から「すごいわ」とか「もう何年やってるの」とかいわれるとつい有頂天になります。実は、昨日始めたばかりでも、そんなに喜ばれたり、ほめられたりすると得意になる不思議な芸です。

そんな腹話術、全くの素人の腹話術を、上手な、楽しい、面白い腹話術につくり上げた人がいます。

「春風イチロー」師匠です。

イチロー師匠が「こうすれば上手にできますよ」「こうすれば楽しく見てもらえますよ」といろいろ教えてくれました。その教えとは、「基本」です。基本を守ってやれば、あなたは地域では腹話術の名人になれます。頑張って、楽しい、面白い、素晴らしい腹話術を目指してください。

（春風とんぼ編著『私も台本を作った』2004より）

■2025年度 年会費（6,000円）、寄付のお願い

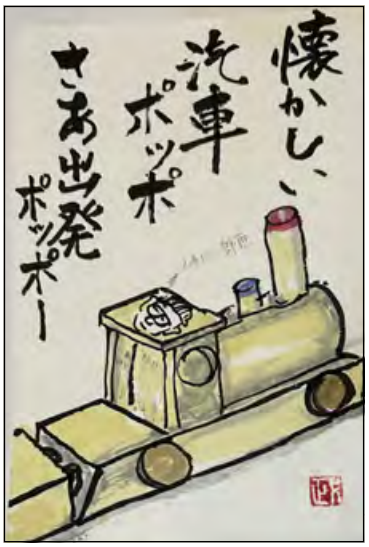
【年会費・寄付金振込先】（名義は、“一般社団法人ロゴス腹話術研究会”です）

ゆうちょ銀行：振替口座番号 00240-2-103127

※お願い：通信欄には、お手数ですが、振り込みの内訳（2025年度年会費、寄付）をご記載ください。

〈編集後記〉

クリスマスおめでとうございます。春風イチロー師匠生誕100周年にあたり、師匠の自己紹介を掲載しました。その活動は、もちろん腹話術を広めたい、福音を伝えたいとの強い思いがベースにありますが、比田井さんが書かれているように「漫談のような…」面、お笑い要素も大きいです。地上の日の最後までおしゃべりで（手話のように手で表現）、楽しそうに天国に旅立っていかれました。師匠の心と技を継承していくためにも、テッテルさんの人形操作研修を参考に、お人形との暖かな対話を重ねることを願います。



絵手紙：春風赤とんぼさん

発行：一般社団法人 ロゴス腹話術研究会 事務局　〒211-0005　神奈川県川崎市中原区新丸子町734–1 アベニオ新丸子ビル402号
TEL：044-733-6650　FAX：03-6868-3638　メールアドレス：harukaze@logos.or.jp　ホームページ：https://logos.or.jp